

宮城県内での東日本大震災緊急復興支援活動について

公益財団法人 日本ユニセフ協会

宮城フィールドオフィス

2012.9.18 現在

日本ユニセフ協会は 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災を受け、約 50 年ぶりに日本国内での支援活動に取り組む事を決定、即時、国内外で募金活動をすると共に、被災地での、特に子ども支援及び子育て支援を中心とした緊急支援を開始。以下、宮城県内で実施してきた支援内容のまとめである。

今年度は、心理社会的支援、子どもの保護、子どもにやさしい復興計画を中心に活動を実施中。

1 緊急支援物資の配布

内容	詳細	対象地域	実施期間
緊急支援物資の配布	水、食料、物資、「箱の中の幼稚園」「レクリエーションキット」などを被災各地の避難所へ支援。生活協同組合や現地市民団体の協力により、被災地まで物資を運ぶトラックや物流拠点となる倉庫の確保ができた。	仙台市、石巻市、大崎市、登米市、栗原市、気仙沼市、名取市、多賀城市、塩竈市、富谷町、岩沼市、東松島市、柴田町、白石市、亘理町、利府町、角田市、加美市、美里町、大和町、大河原町、七ヶ浜町、涌谷町、南三陸町、山元町、丸森町、松島町、蔵王町、村田町、女川町、川崎町、大郷町、色麻町、大衡村、七ヶ宿町	2011 年 3 月-5 月

2 保健・栄養

保健・栄養	震災後、行政による母子保健サービスが一日でも早く受けられるよう、国内の医療専門家団体の協力も得ながら、岩手、宮城両県の被災地に住む乳幼児を対象とした健診再開支援を行った。乳幼児健診用の身長計や体重計、診察台、ワクチン保冷庫の他、地域の自治体の保健担当者が移動する際の車や原付バイクなど被災各地の保健当局に提供。6 月までに両県では 18 の市と町で 27,000 人を対象とした乳幼児健診が再開された	亘理町、塩竈市、多賀城市、石巻市、南三陸町、気仙沼市、岩沼市、登米市、女川町、村田町、名取市、東松島市	2012 年 4 月～8 月
-------	--	---	----------------

	宮城県女川町での学校給食施設支援	女川町	2012 年 8 月
	岩手、宮城、福島各県沿岸部 29 市町村に住む生後 6 か月から中学生までの子ども最大 16 万人を対象としたインフルエンザ予防接種の支援を行った。市町や医師会等を通じて接種 1 回あたり 2,000 円を助成、約 2.8 億円の予算をかけた。宮城だけでは約 8 千万円分が助成された。	気仙沼市、南三陸町、石巻市、東松島市、女川町、亶理町、山元町	2011 年 10 月～2 月
	石巻市の小中学校全校への給食食器 1 万 5,000 個支援	石巻市	2012 年 4 月～
	南三陸町保健センター建設支援	南三陸町	2012 年 3 月完成

3 教育

教育	震災直後、学校再開のための支援として文房具や学校用の備品などの提供を軸とした「バック・トゥー・スクール」キャンペーンを展開。宮城県内の小中学生 6,906 名分のノートと文房具のセットを支援。その後も体操着や書道セット、裁縫道具、リコーダー、算数セットなど、授業に必要な様々な学用品や副教材、備品や機材を提供。2012 年 1 月までに総額 5 億円以上相当の物資を支援	宮城県内の全地域	2011 年 4 月～5 月
	地震及び津波により被災した自治体からの要請を受け、幼稚園・保育園の仮設・恒久園舎の建設や大規模修繕を行っている。	気仙沼市、南三陸町、石巻市、亶理町、山元町	2011 年 4 月～
	ちっちゃな図書館プロジェクト・女川 ちゃっこい絵本館	女川町ほか宮城県沿岸部全域	2011 年 3 月～

4 心理社会的支援

内容	詳細	対象地域	実施期間
子どもに優しい空間	震災後すぐに、宮城県内の 12 の避難所に子どもに優しい空間を設置（子どもの遊び場作り）	石巻市、東松島市	2011 年 3 月～5 月

心のケア研修及びフィードバック	日本プレイセラピー協会と連携し、『プレイセラピー的子どもとの関わり方の研修』を43カ所で実施、1075名の保育士や保護者、子育て支援センター・スタッフ、関連行政職員、児童民生委員等が参加	仙台市、山元町、亶理町、名取市、気仙沼市、女川市、石巻市、塩竈市	2011年4月～
	要請のあった個別の園に対するサポート：保護者、保育士の心理相談、個別ケースの親子のプレイセラピー	山元町	2011年10月～
心のケア資料作成	・子どもの心のケア冊子配布（一般向け） ・遊びを通した子どもの心の安心サポート・マニュアルの配布	宮城県県行政、仙台市、山元町、気仙沼市、石巻市	2012年3月～
心のケア（親子遊び）	日本プレイセラピー協会と共同で、親子遊びの場に参加し、子どもの心のケアにつながる遊びを紹介し、親子の心のケアを実施	仙台市、石巻市、気仙沼市	2011年10月～

5. 子どもの保護

内容	詳細	対象地域	実施期間
東部児童相談所への物資支援	被災した東部児童相談所（石巻）へおもちゃやコンピュータなどを支援	石巻市	2011年7月
災害孤児の代替的養護アドボカシー	国際スタンダードに基づく震災孤児に対する代替的養護を訴えるアドボカシー（提言）、国会議員との意見交換会、シンポジウムなどの実施	被災地全域および全国	2011年3月
災害ボランティアへの子どもの保護に関する周知活動	各被災市町村の災害ボランティアセンターを通して災害ボランティアへの「子どもの保護と安全確保のための行動規範」の周知を実施	南三陸町、気仙沼市、石巻市	2011年5月～8月
子どもの暴力防止（CAP）ワークショップ実施	J-CAPTA、CAP みやぎ、CAP の会と連携し、子どもたちが暴力から身を守るためのワークショップを実施するスペシャリストを県内で約30名養成。被災自治体で地域や幼稚園、保育園、小学校などでのCAPワークショップを実施（2011年から2012年7月までに1478人の子どもと1057人のおとなが参加）	スペシャリスト養成研修：仙台市で開催 CAPワークショップ：仙台市、気仙沼市、岩沼市など被災した沿岸地域全域	2011年10月～

父子家庭・父親支援	保育士・民生児童委員、学童指導員などへ「お父さん支援員のための研修」を実施、地域で父子参加イベントなどを開催、被災父子家庭および被災地の父親が抱える復興ストレスへの支援を強化。県内で 107 名が研修を受講。200 名以上の父子がイベントに参加。父子家庭向けのガイドブックやサポートファイルを作成し、お父さん支援員が働くパステーションで配布・展示した。 (詳 細 : http://ccn.niiza-ksdt.com/unicef/unicef_main.html)	仙台市・石巻市	2011 年 9 月～
放課後の子ども見守り事業への支援	南三陸町教育委員会からの要請で、戸倉小学校（志津川小学校内）の放課後子ども見守り事業を支援。＜キッズドアとの連携事業＞	南三陸町	2012 年 4 月～

7、子どもにやさしい復興計画

子どもにやさしい復興計画	復興計画の中に子どもたちの声が積極的に取り入れられるよう、また復興に向けたまちづくりに子どもたちも参画できるよう、アドボカシーおよび技術的支援を実施。大学、学会、企業などの専門家の方とともに活動を展開している。	女川町、南三陸町、石巻市	
--------------	---	--------------	--

※行政との連携・調整

県教育委員会、県子育て支援課が主催している行政と支援団体が毎月行う定例会合「子ども支援連絡会議」に参加、連絡会議の設置要綱や「子どもの保護と安全確保に関する行動規範」の作成などに協力、情報共有などを行っている。その他、被災自治体（石巻市、気仙沼市、南三陸町、女川町、亘理町、山元町など）とは定期的に会合を行っている。